



令和 6 年 (2024 年) 12 月 19 日豊中市で 10 番目の地域自治組織である「島田地域自治協議会」が立ち上がりました。「自助・共助の力を高め、安心・安全な地域で次世代を育てること」を目標に、地域住民が主体となって参画できる地域自治組織をめざしたいと語る田中会長に設立への想いをお聞きしました。

**Q. どうして地域自治組織を作ろうと思ったのですか？**

A. 地域の活動拠点であった小学校が校区の再編成により閉校し、荒廃が進んでいました。公民分館も統合され、情報も入りづらく孤立感があり、コロナ禍で希薄になった地域コミュニティの崩壊や諦め感が顕著になっていました。

このままでは地域が廃れてしまうという危機感から、地域住民が主体となって自助・共助の力を高め、地域力・活力のある地域へ復活させることにより、地域に愛着を持ち、安心・安全な地域で次世代を育てるよう、旧校区の公民分館に代わる担い手として地域自治組織を立ち上げました。

**Q. 実際に立ち上げてみての感想をお願いします。**

A. 地域への熱い想いがある人、現状を憂い何とかしたいと思う人、楽しく活気のあることがしたい人たちは協力的で、立ち上げの企画から実際に立ち上げるまでのタイトなスケジュールでも苦労はありませんでした。しかし、地域住民の中でも地域活動に対して温度差があることもまた事実なので、一筋縄ではいかないことも多かったです。



**Q. これから地域自治組織を立ち上げたい校区の方々に向けて、一言お願いします。**

A. 熱意と課題と必要性があれば大変ありがたい組織です。

どんな組織でも最初は熱意も必要性もあり、一致団結できますが、徐々に事業が形骸化していき、組織運営そのものが負担になってしまう可能性があります。そうならないために、立ち上げ前から入念に話し合い、万全を期することも大切かと思いますが、意欲的なうちに行動する勢いも必要だと思います。

**Q. 今後の展望をお聞かせください。**

A. 住民アンケートでは、回答者の 9 割が「概ね住みやすい」、「地域でのつながりが必要」と回答され、8 割が「地域活動に参加したい」と回答されています。運営する自分たちも地域住民と一緒に楽しめるような防災、お祭り、イベントなどの活動を行っていきたいです。



**【お問い合わせ先】**

豊中市市民協働部地域連携課 (連携推進係)  
〒561-0802 豊中市曾根東町 3-7-3 中央公民館 1 階  
電話：06-6866-1102 ファクス：06-6863-4427  
ホームページ：<https://www.city.toyonaka.osaka.jp/machi/npo/jiti/index.html>



各協議会の取り組み  
状況はこちら



市ホームページ

# トロッコ 第 4 号



## 特集

### 地域の大会議 (旧庄内小学校区) (庄内南小学校区)

#### イベントレポート

#### 島田地域自治協議会が設立されました！



平成 24 年に豊中市地域自治推進条例を施行し、多様化、複雑化する地域の課題については、地域のことをよく知る住民が、地域の特性に応じて主体的に取組み、行政がその取組みを支援することにより、より良い解決を図ることができるという考え方にに基づき、豊中スタイルの地域自治を進めています。そのために、“トロッコ”を通して、地域活動に関する情報をお届けすることで、地域自治システムに関心を持っていただき、地域の方々や各団体による地域コミュニティの活性化につながればと願っています。



## 地域の未来を考えよう！ 地域の大会議 in 旧庄内小学校区



## 地域の大会議 in 庄内南小学校区

**旧**庄内小学校区では、地域の若手メンバーが主体となって地域におけるニーズ、将来像を話し合うワークショップを2回開催しました。庄内地域の思い出を振り返り、人によってモノの見方や考え方・価値観が異なり、コミュニケーション不足により個々人が分散していることを共通認識として確認されました。

また、「こうありたいと思うこと」・「大事にしたい視点」に基づき、3つの事業項目（盆踊り、子ども夜警参加、地域情報の発信）を設定することが確認されました。



地域の思い出を振り返り

**庄**内南小学校区では、ワークショップ形式と意見交換形式の計2回開催しました。ワークショップでは、校区の現状をデータから考え、そこから見える「気になったこと」を話し合い、すでに出来ている「庄内南小学校区の楽しい取組み」を出し合いました。参加者の方々は「改めて地域の団結力を確認するいい機会になった」や「校区の活動を見直すいい機会になった」などの感想がありました。

意見交換では、1つ目のステップとなる検討会の立ち上げにかかる疑問点などを全体で確認しました。

## 地域の大会議とは…

このワークショップは、地域住民がつながるきっかけづくりを目的に「校区内の今まで知らなかったこと」をたくさん知ることができる場です。「校区内の団体がどのような活動をされているのかを知りたい」、「校区間でどのように活動の差があるのかを知りたい」などがありましたら、地域の大会議を開催してみませんか？

何かに困っているけれど、「自分たちだけではどうしたらいいかわからない」とお悩みであれば、一度地域の大会議を開いてみませんか？各団体や市の職員、時には事業者なども交えて、解決に向けて話し合いましょう。